



なつやす

としよしつ

【夏休みの図書室について】

じどう

ほごしゃ

かた

児童のみなさんと保護者の方へ

ことし なつやす

か かん

今年の夏休みは4日間あいています！

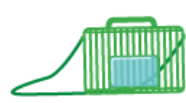
ひ 日にち：7月23日（水）、24日（木）、

8月21日（木）、22日（金）

時間：午前9時～11時まで（午後は開いていません）

～おねがい～

- ・図書室に来る時はお家の人に伝えてから来ましょう。
- ・通学路を通して、北門（給食室の横）から入りましょう。
（他の門はしまっています）
- ・通学する時は、ぼうしをかぶってきてください。
- ・うわぐつをわすれずに持ってきてください。
- ・暑い日が続くので、水とうを持ってきてください。図書室の中でお茶をのんでもらっていいです。本がよごれないように気をつけてのみましよう。
- ・図書室では、本のかし出、返きゃく、よやく、読書ができます。
かし出できるのは4さつまでです。
- ・図書室にいる時間は1時間までにしましょう。
- ・夏休み前と、7月24日（木）までにかりた本は、8月27日（水）～8月29日（金）の間に返しましょう。
- ・8月21日（木）と、8月22日（金）にかりた本は、2週間後までに返しましょう。



やわたしりつやわたしようがっこうとしよしつ
八幡市立八幡小学校図書室

ほんのおたより

ねんせい ねんせいよう
（1年生～3年生用）



れいわ ねん がつ か なつごう
令和7年7月7日夏号



なつやす

よ

夏休みに読んでみて



もうすぐ楽しい夏休みが始まりますね。長い夏休みの間に、いつもより長いお話の本や、調べたいことを調べる本をかりてみるのはいかがでしょうか？そこで、今回の図書室だよりでは、夏休みに読んでみてほしい本をしょうかいします。気になる本があったら、ぜひかりに来てくださいね。

えほん『えらいこっちゃ！はじめてのプール』

かさいまり/文 ゆーちみえこ/絵 アリス館



にがて 苦手なことにもちょうせんしてみよう

みなさんは、プールの時間はすきですか？泳げるかふあんで、ドキドキしている人もいないのでしょうか？

でも、だいじょうぶです。このえほんにでてくる男の子も、1年生で、はじめてのプールの時間に、とてもきんちょうしていました。なぜなら、およぐことができないからです。

みずぎ 水着に着がえて、プールに行くと、学校のプールは、とても大きくてびっくり。「えらいこっちゃ！」シャワーをするのも、プールの中に入るのも、水に顔をつけるのも、およぐのも、全部はじめてのことばかり。できないこともあるけれど、がんばろうとするすがたにゆう気がもらえますよ。

えほん『ともだち』

リンダ・サラ/作 ベンジー・デイヴィス/絵 しらいすみこ/訳 ひさかたチャイルド



ともだちっていいな

ぼくとエトは、とってもなかよし。毎日、紙ひこうきをとばしたり、カエルをつかまえたり、ダンボール箱の中に入ったりして遊んでいました。

ある日、はじめて会うシューという子が、「なかにいれてくれる？」と、声をかけてきました。エトは、「いいよ。」と、答えて、すぐにシューと遊び始めました。

でも、ぼくは、二人といっしょに遊べなくて、なかまはずれになったみたい…。悲しい気持ちになって、次の日から、家にこもり、一人ですごくすようになりました。

そこへ、エトとシューが、ぼくの家、とくべつなものを持ってやってきてくれたのです。そして、ぼくは、やっぱり、ともだちと遊ぶのは楽しいなと思えたようです。

えほん『ネコになりたかったクモのルイージ』

ミシェル・ヌードセン/作 ケビン・ホークス/絵 福本友美子/訳 岩崎書店

おたがいを思いやる温かいお話です

ある日、毛がもじゃもじゃの大きなクモが、住むところをさがしていました。すると、かくれるのにぴったりな古い家が見つかりました。その家のソファの下に、糸をはって、ねむることにしました。

次の日の朝、クモは、メガネをかけたおばさんにすくいとられて、目がさめました。そして、そのおばさんは、ネコをかってみたかったようで、ルイージという名前をつけて、クモをネコとしてかい始めたのです。ごはんをもらい、おもちゃで遊んでもらううちに、クモは、ネコとしてくらすのも悪くないなと思えてきて、ネコらしくすごそうとします。

しかし、その家に、おばさんのお友だちがやってきました。お友だちには、ルイージがネコではなく、クモであることが、バレてしまうのではないのでしょうか…？
ちょっとびっくりする、とても温かい気持ちになるさい後が待っていますよ。



しぜんかがく『くらべてわかる!こんちゅう図鑑』全4巻

須田研司/監修 童心社

こん虫はかせになれるかな？

夏休みに、カブトムシやクワガタムシなどのこん虫さいしゅうに行く人も多いのではないのでしょうか？

この本には、こん虫のつかまえ方や、家でのかい方がしょうかいされています。つかまえ方では、虫取りあみでのつかまえ方や、虫のもち方などが、写真つきで、わかりやすくのっています。かい方では、虫かごにどんなものを入れたらいいのかや、こん虫が何を食べるのかなどが、細かいイラストでのっています。

また、こん虫さいしゅうに行く時の服そうや、マナー、きけんな虫などもしょうかいされているので、この本を読んで、安全にこん虫さいしゅうを楽しめるといいですね。

ものがたり『ふみきりペンギン』 おくはらゆめ/作・絵 あかね書房

人とちがっていてもだいじょうぶ

小学3年生のゆうとは、友だちから、「左手で字を書くのヘンじゃない？」と、言われ、いやな思いをしていました。そんな学校からの帰り道に、ふみきりの向こうに、5ひきのペンギンがならんでいました。そのペンギンたちは、会話をしているのです…。

他にも、ささいなことでケンカをしてしまったななこは、かがみの中のライオンにみつあみの仕方を教えてあげたり、友だちにつけられたあだ名がいやで引きずっているそうすけは、他の人には見えない天気うらないをするフクロウが見えたりと、なやみがある子たちが、次々とふしぎな体けんをしました。どうやら、このふしぎな動物たちが、心をほぐしてくれて、なやみもかいけつしてくれるようです。

「ふつうってなんだろう？」、「自分らしさってなんだろう？」ということについて考えることができる物語で、今年度の3・4年生読書かんそう文コンクールのかだい図書です。

